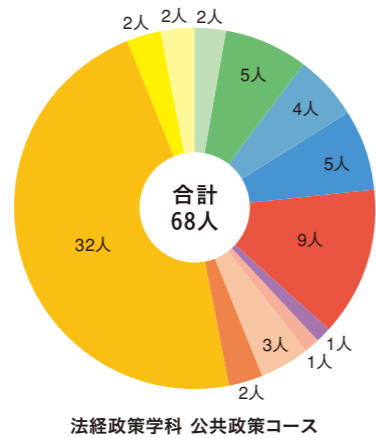
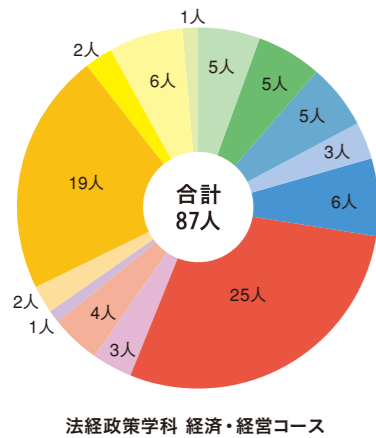
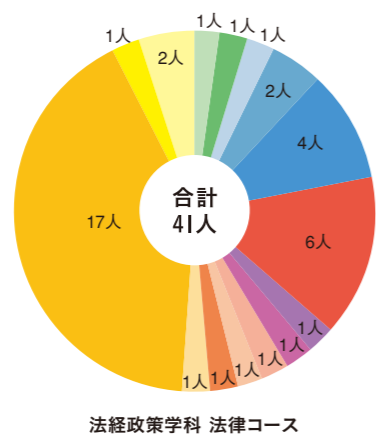
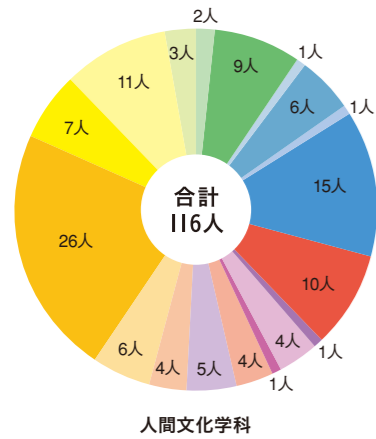


## 就職・進学データ



## 平成27年度実績

- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業・郵便業
- 卸売業・小売業
- 金融業・保険業
- 不動産業・物品賃貸業
- 学術研究・専門・技術サービス業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 公務員
- 進学
- その他
- 未就職

# 山形大学人文学部は、 人文社会科学部に 生まれ変わります。

山形大学 人文社会科学部 学部案内2017

## 過去3年間の主な就職先

JR東日本(株)、(株)JTB東北、NTT東日本(株)、TPR工業(株)、(株)秋田銀行、アイリスオーヤマ(株)、(株)一条工務店、エヌ・デーソフトウェア(株)、(株)かわでん、(株)きらやか銀行、サマンサタバサグループ、(株)七十七銀行、(株)荘内銀行、積水ハウス(株)、(株)セブン-イレブン・ジャパン、ソフトバンク(株)、第一生命保険(株)、(株)大和証券、(株)竹中工務店、東京海上日動火災保険(株)、東北電力(株)、(株)日本経済新聞社、日本生命保険(相)、日本郵便(株)、野村証券(株)、日立アロカメディカル(株)、富士通エフ・アイ・ビー(株)、(株)星野リゾート・マネジメント、(株)三井住友銀行、モガミフーズ(株)、(株)山形銀行、(株)山形新聞社、(株)山形テレビ、(株)山本製作所、(株)東北博報堂、日本航空(株)、(株)りそな銀行、国立大学法人山形大学、日本年金機構、公正取引委員会、東北経済産業局、東北公安調査局、会計検査院、航空管制官、裁判所事務官、仙台国税局、仙台法務局、東北財務局、秋田県、岩手県、新潟県、福島県、宮城県、山形県、山形県警察、秋田市、上山市、酒田市、仙台市、鶴岡市、山形市、山形県教員 他

## 過去3年間の主な進学先

山形大学大学院、広島大学大学院、国際教養大学大学院、大東文化大学大学院、北海道大学大学院、一橋大学大学院、宇都宮大学大学院、中央大学法科大学院、東京大学大学院、東北大学大学院 他

## 就職率の推移

平成25年度 95.8%  
平成26年度 97.1%  
平成27年度 98.6%

## 山形大学人文社会科学部

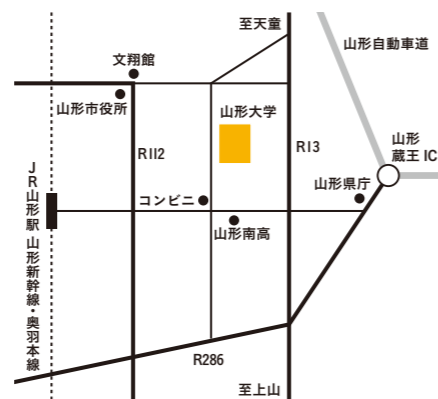
〒990-8560  
山形県山形市小白川町1丁目4-12  
<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/>

お問い合わせ  
023-628-4203 (人文社会科学部 総務担当)  
023-628-4207 (人文社会科学部 学務・入試担当)  
023-628-4134 (就職課(人文社会科学部担当))

公式 SNS



リアルタイムで最新情報を発信中!



アクセス  
○山形駅東口より東方約2km  
○山形駅東口より徒歩約25分  
○山形駅東口より県庁前行きバスで約7分  
南高前(山大入口)下車徒歩7分  
○仙台駅前より山形行き高速バスで約65分  
南高前(山大入口)下車徒歩7分  
※仙台～山形間的高速バスは平日80便、土日祝日66便運行しています。

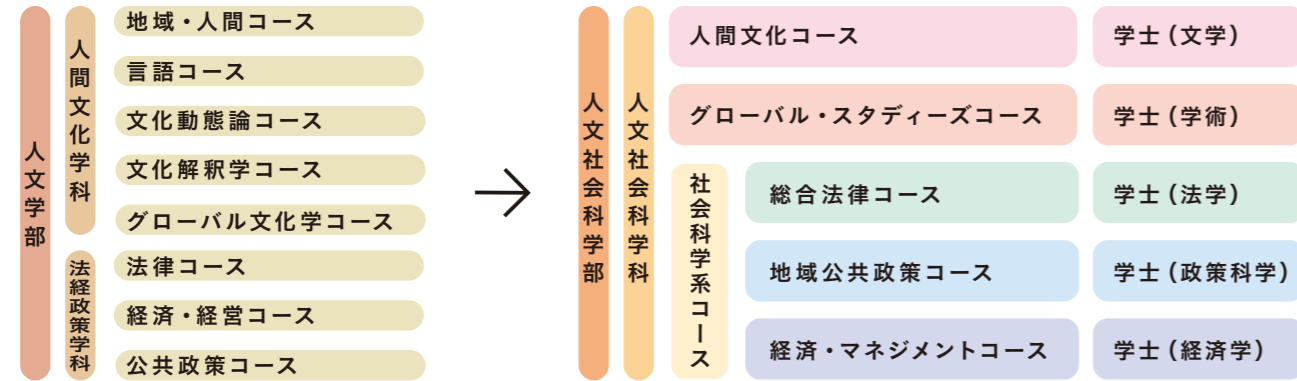
※平成29年4月から山形大学人文学部は人文社会科学部に生まれ変わります。内容等は構想中のものであり、今後変更となる場合がありますのでご注意ください。

# 山形大学人文学部は、人文社会科学部に生まれ変わります。

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

## 2学科制から1学科制へ

1学科制による人文社会科学の総合的な教育で、専門性を重視しながら、文化や社会科学を幅広く学べる学部になります。



●社会科学系コースは、2年進級時に総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコースに分かれます。

## 求める学生像 (3つのC)

- Challenge:** 挑戦意欲 人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
- Cooperation:** 協働意欲 多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人
- Contribution:** 社会貢献意欲 活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

## カリキュラムの特色

専門的なことを深く学ぶと同時に、社会人として活躍するための基礎的な力（英語、情報・統計・調査能力、実践的課題解決能力）が学べるカリキュラムを用意しています。

専門教育	高年次教養教育	ジェネリックスキル教育
専門知識を修得し、論理的・批判的思考力を身につける 国際水準に基づく専門教育	教養と異文化に対する受容能力を身につける 世界や地域の様々な文化や社会制度に関して学ぶ	時代の要請に対応する 応用可能な普遍的な能力を育成 IT・統計・社会調査科目、外国語科目
基盤教育	キャリア教育	PBL型授業
「人間力」を養う 3年一貫の学士課程基盤教育プログラム	社会的・職業的自立へ適切な準備作業 キャリアデザイン、インターンシップ	アクティブ・ラーニングで実践力を育成 社会実践力を養う多種多様な実践科目群を導入

## 取得できる主な資格

- 中学校教諭一種免許（国語、社会、英語）
  - 高等学校教諭一種免許（国語、地理歴史、公民、英語）
  - 学芸員
- この他、所属コースにより、「公認会計士」「税理士」「日商簿記検定」「証券外務員」「ファイナンシャルプランニング技能士3級」「司法書士」「ビジネス実務法務検定」「社会保険労務士」「行政書士」「宅地建物取引士（旧宅地建物取引主任者）」「宅地建物取引主任者」「地域調査士」「貿易実務検定C級」「基本情報技術者」「日本語教育能力検定試験」「各種語学検定」などの資格・試験に挑戦することも可能です。また「社会調査士」が取得可能となる予定です。

## 平成29年度入試概要（募集人員）

	計	前期日程	後期日程	推薦入試I	社会人入試	私費外国人留学生入試
人文社会科学部	人間文化コース	55	10	15	-	若干人
	グローバル・スタディーズコース	25	-	20	-	-
	総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース	110	20	35	若干人	若干人

※出願資格、出願手続き、選抜方法等については、必ず入学者選抜要項および学生募集要項をご覧ください。

# 人間文化コース

人類学、歴史、言語、文学、映像、哲学、認知心理学など、人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識を身につけます。

- 文学、歴史、言語、哲学、情報科学、映像など、文化的な資源を発見し、その価値を活用・発信する方法を学びます。
- ナスカ研究をはじめとする高度な人文学教育の中で、人類の文化を総体としてとらえる力と交流する力、資料を収集・分析する力などの実践的な能力を身につけます。

## 教育内容

### 5つの主専攻プログラムと2つの副専攻プログラム

日本と地域を国際的視点から考えるコース必修「日本学入門」を起点に、5つの主専攻プログラムに沿いつつ、学部横断的な高年次教養科目を通じて社会科学や国際学の視点に触れた後、3つの人材類型に向けて3群のプロジェクト演習を展開します。中高の教員を志望する学生、日本語教育に関心を持つ学生向けに、2つの副専攻プログラムがあります。

### 留学生とともに学ぶ

留学生との間の多様な交流・討論の場を教育体系にとり込み、相互的な啓発に生かせる教育プログラムを展開します。

▶主専攻プログラム	▶副専攻プログラム	▶PBL科目
<b>人間学領域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化人類学プログラム アンデス考古学、文化人類学</li> <li>● 歴史学プログラム 日本史、西洋史、東洋史</li> <li>● 認知情報科学プログラム 人間情報科学、認知心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職副専攻プログラム 国語・社会（地歴公民）の中高教員免許状取得</li> <li>● 日本語教育副専攻プログラム 公的な要請基準に基づいた能力育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間と文化の理解を広げたい ・ナスカ地上絵研究成果展覧会の実施 ・地域方言調査 ・高校生と連携した社会意識調査分析</li> <li>● 文化の発信に興味がある ・山形ウォークラリー作成 ・山形国際ドキュメンタリー映画祭アーカイブの調査分析 ・映像作品の制作と上映会の企画実施</li> <li>● 専門知識を探究したい ・定住外国人への日本語教育実践 ・地域資料の調査と研究 ・高校教員と連携した授業教材研究会</li> </ul>
<b>文化学領域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本学プログラム 日本語学、日本文学、日本語教育学</li> <li>● 文化解釈学プログラム 哲学、芸術文化論、表象文化論</li> </ul>		

## カリキュラムマップ

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>専門導入科目</b> 「日本学入門」科目群 日本社会論、人間文化入門総合講義	<b>専門基礎科目</b> 〈文化人類学プログラム〉 アンデス考古学概論 など 〈歴史学プログラム〉 日本近代史概論 など	<b>専門展開科目</b> 文化人類学特殊講義、文化人類学演習 など 東アジア史特殊講義、ヨーロッパ史演習 など	卒業論文
<b>基盤教育共通科目</b> 導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目	〈認知情報科学プログラム〉 人間情報科学概論 など 〈日本学プログラム〉 日本語学概論 など	認知心理学特殊講義、情報処理実習 など 日本古代中世文学特殊講義、日本語文法演習 など	
	〈文化解釈学プログラム〉 哲学概論 など	美術史特殊講義、表象文化演習、現代社会論演習 など	
	<b>高年次教養科目</b> <b>ジェネリックスキル科目</b> <b>キャリア科目</b>	<b>PBL科目</b> 「課題演習」科目群 地域歴史史料、哲学、芸術文化 など	

## 想定される主な進路

- 地域サービス  
小売・卸売業（販売）、製造業、飲食・娯楽業、公務員、金融・保険業 など
- 広告企画  
情報・通信、メディア、広告代理店、地元観光関連業、国際交流協会 など
- 教育支援  
教育・学習支援業、文化事業団、進学 など

# グローバル・スタディーズコース

英語等の外国語の高い運用能力を基本に、国際社会に関する人文科学・社会科学の専門知識を学んでいきます。

- 英・中・独・仏・露を中心とした外国語の強化プログラムを通じて、グローバル人材として地域社会で活躍するための汎用的な技能を磨きます。
- 国際社会と国際文化に関する分野横断型の専門教育を通じて、グローバル化に柔軟に対処するための基礎的な教養を身につけます。
- 留学や海外研修等を通じて、グローバル世界の中で生きるための実践的な経験を積みます。

## 教育内容

英語ともう1つの外国語を並行して学び、国際地域研究ならびに多文化研究の専門知識を深め、留学や海外調査、公共・企業インターンシップの経験を通じ、欧米、そして日本の周辺アジアと、グローバル化する国内地域社会に関する理解力を持ち、グローバル化に柔軟に対応できる能力を養成します。

### 大幅に強化された語学カリキュラム

従来よりも大幅に強化された語学カリキュラムによって、英語を始めとする外国語の確かな運用能力を養います。

### 学生の多様な興味&関心に対応した分野横断的な2つの専門教育プログラム

「国際地域研究」と「多文化研究」の2つの専門教育プログラムによって、国際社会・文化に関する人文・社会科学の知識を総合的に学びます。

### 海外研修の必修化

在学中の海外体験を通じて、グローバル社会で生きるための実践的な能力を高めます。

#### ▶英語強化 or 2カ国語習得

英語強化はコース専門語学（英語）＋基盤教育初修外国語（中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語から1つ）を選択必修とし、2カ国語習得は基盤教育英語＋コース専門語学（中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語から1つ）を選択必修とします。

#### ▶2つの教育プログラム

- 国際地域研究プログラム  
欧米、極東、中国&台湾、東南アジア
- 多文化研究プログラム  
比較文化&外国文化・文学、言語（英語）学

#### ▶海外体験の必修化

異文化コミュニケーションI/IIを選択必修とすることで、在学中の海外体験を義務付けます。

## カリキュラムマップ

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>専門導入科目</b> グローバルスタディーズ基礎講義	<b>専門基礎科目</b> 国際協力論 多文化共生論 など	<b>専門展開科目</b> 現代中国論、英米文化論、フランス文化論、ロシア文化論、日本外交論、国際公共政策論、市民社会論、環境経済学、英語学特講義、日英対照言語学講義、内陸アジア史特講義、Japanese Short Stories、Popular Japanese History、アジア文化演習、ロシア文化演習、英米文化演習、東南アジア地域論演習、国際協力論演習、中国文学文化演習、英米文学講義、言語学演習、Seminar in Modern Japanese Cultural History など	卒業論文
<b>基盤教育共通科目</b> 導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目	<b>コース専門語学</b> 英語コミュニケーション、実践英語、中国語会話、ドイツ語講義、時事フランス語、ロシア語学演習 など		
<b>PBL科目</b> 異文化コミュニケーション グローバル・プロブレマティック基礎演習 など	<b>高年次教養科目</b> <b>ジェネリックスキル科目</b> <b>キャリア科目</b>		

## 想定される主な進路

- 製造業  
国際取引、海外拠点管理
- 農業・6次産業  
海外展開
- 旅行  
企画、コンダクター
- ホテル・宿泊  
ホテル運営、企画
- 運輸・航空  
海外営業、企画、グランドスタッフ
- 商社  
海外営業
- 中高英語教員
- 大学院進学 など

# 総合法律コース

法律学の基礎知識と幅広い法的思考の術<sup>すべ</sup>を学び、地域社会の課題を法的な視点をいかして解決する力を身につけます。

- 法学部と同様の体系的な法学教育プログラムを通じて法的リテラシーと法的思考方法を身につけます。
- 他コース・他学部との相補的な連携による学際的な教育プログラム。
- 法律専門機関・団体との連携・協力による実践的な演習科目を創設。

## 教育内容

### 体系的な法律専門知識の教育

体系的な法学専門教育のプログラムを通じて、法的な基本素養と汎用力の高いリーガルマインドを身につけることができます。専門的な学力を土台にしてこそ、現代の地域社会が抱える様々な課題を法的に解決していくべく考え、行動することができるのです。

### 専門的知見を多角的に練磨する学際的教育

他コースとの連携を強めて、広く学際的視点から物事に柔軟に対処できる人材の育成を目指します。経済・マネジメントコースとの連携では、法律やルールが人々の行動に与える影響を経済学的手法を用いて分析する術を学びます。地域公共政策コースとの連携では、法律や制度が政治的・政策的過程を通じて国民生活の向上に寄与するメカニズムを学びます。

### 理論と現場を結びつける実践的教育

弁護士会、司法書士会、矯正保護施設等と連携協力し、地域社会が直面する具体的な課題の解決に向けて、法学の基礎理論を現場レベルで実践する「法務実践演習」を開講します。高齢者法務実践演習、消費者法務実践演習、刑事法務実践演習などを開講予定。

#### ▶法務実践演習のメニュー

- 高齢者法務実践  
判断能力が低下していく高齢者の権利保護のための法的対策を考案・実践。
- 消費者法務実践  
ネット時代における消費者の権利保護のための法的対策を考案・実践。
- 刑事法務実践  
少年院を始めとする矯正保護施設と連携し、少年更生保護プログラムを策定。
- ジェンダー法務実践  
地域NPOと連携し、ジェンダー基本条例の比較分析と構想を行います。
- 労働法務実践  
地域の団体と連携し、具体的労働問題の解決を検討します。
- 他コースとの連携による実践演習  
ビジネス創業実践／経済・マネジメントコースとの連携で起業を模擬体験する。公共政策実践／地域公共政策コースとの連携で自治体での法実務を模擬体験します。

## カリキュラムマップ

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>専門導入科目</b> 総合講座 政治学入門 法と裁判 経済思想	<b>専門基礎科目</b> 憲法、行政法、刑事法基礎、刑法、刑事訴訟法、民法入門、金融法入門、民法基礎、親族法、相続法、会社法、国際法、国際人権法、法哲学、法制史、労働法、専門基礎演習 など	<b>専門展開科目</b> 比較憲法、教育法、刑事政策、民法展開、商法、民事訴訟法、国際取引法、経済法 など	卒業論文など
<b>基盤教育共通科目</b> 導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目	<b>ゼミ</b> 憲法演習、行政法演習、刑法演習、刑事訴訟法演習、民法演習、商法演習、国際法演習、国際取引法演習、法哲学演習、労働法演習、経済法演習 など		
	<b>高年次教養科目</b> <b>ジェネリックスキル科目</b> <b>キャリア科目</b> <b>PBL科目</b> 法務実践演習 など		
	<b>横断的教育科目</b> 政治理論、地域政策論、マクロ経済学、金融論、公共政策学、公会計、政策法務 など		

## 想定される主な進路

- 公務員  
地方自治体職員、国家公務員、家庭裁判所調査官、警察官 など
- 法律専門職  
裁判所事務官、検察事務官、労働基準監督官、法務局職員 など
- 団体職員  
民間企業、法務関係のNPO など
- 法科大学院への進学

# 地域公共政策コース

地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を把握・分析して、その解決に取り組むための知識と技能を実践的に学びます。

- 公共政策・地域政策に関する充実した科目群に加えて、コース横断的教育を強化し、地方創生・地域課題解決に資する人材育成に最も適した学びを提供します。
- 地域社会を空間・コミュニティという視野から考えるための地理学、社会学を学ぶことにより、地域社会の課題を個別に取り上げ、調査・分析・政策提言という一連のプロセスをデザインできる人材を育てます。
- 自治体やNPO等と協力した実践的な演習科目により、地域の活性化と持続的発展を可能にするための多面的な取組みを考え実行できる人材を育てます。

## 教育内容

### 地域課題の具体的課題解決に取り組む力を育成

- 地域コミュニティ再生に係る学生の多様なニーズに対応し、公共政策・地域政策の視座から地域課題の具体的課題解決に取り組む力を育成します。
- 法学・政治学・経済学と並び、地理学・社会学分野の科目も含めた幅広いメニューを入門から応用まで用意し、政策立案のための能力を養います。

### 調査手法の知識との有機的連携

- 社会科学系科目の体系的履修により修得した学問的基礎と調査手法に関する知識とを有機的に連携させ、実践科目の教育効果を高めます。これによって地域課題の的確な把握・分析に基づく解決策を導く実践力を養います。
- 他コースとの領域横断的教育で、地方創生のための人材育成という教育目的に合う合理的なカリキュラムを構成。

### 地域の現場から／現場で学ぶ

- 学生がグループワーク、実地調査等を体験することによって地方創生に関連する政策課題についての知識や技術を実践的に学びます。
- 地域住民と協働した地域活性化プログラムの提案や、地域インバウンド観光に関するルート企画などを通じ、学生の課題解決力、創造力を育てます。

### ▶ 地方創生の先頭に立つための能力育成

- ① 地域の公共的課題を捉え直し、具体的な解決策を提言する力を養う
- ② 調査手法の知識との有機的連携（地域課題の的確な調査・分析）
- ③ 効果的な公共政策の提言（PBLによる実践力の修得）

### ▶ 実践演習メニュー

- **公共政策・地域課題実践演習A**  
学生がグループワーク、実地調査等を体験することによって地方創生に関連する政策課題についての知識や技術を実践的に学びます。
- **公共政策・地域課題実践演習B**  
地域住民と協働した地域活性化プログラムの提案や、地域インバウンド観光に関するルート企画（人間文化コースと連携）などを通じ、学生の課題解決力、創造力を涵養します。

## カリキュラムマップ

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>専門導入科目</b> 総合講座 政治学入門 法と裁判 経済思想	<b>専門基礎科目</b> 政治理論、政治過程論、地域政策論、行政学、国際関係論、比較政治学、社会学概論、人文地理学概論、地誌学、地域社会学、社会統計学、専門基礎演習 など	<b>専門展開科目</b> 公共政策学、日本外交論、政治思想史、現代社会学、社会分析論、観光学 など	卒業論文など 学士（政策科学）
<b>基盤教育共通科目</b> 導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目	<b>ゼミ</b> 政治理論演習、国際関係論演習、比較政治学演習、行政学演習、公共政策学演習、地域政策論演習、経済学史演習、地域構造論演習、社会学演習 など		
	<b>高年次教養科目</b> ジェネリクススキル科目 キャリア科目 PBL科目 公共政策・地域課題実践演習 など		
	<b>横断的教育科目</b> ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論、財政学、経営学、会計学、憲法、刑法、民法、国際法 など		

## 想定される主な進路

- **公務員**  
地方自治体職員、国家公務員、警察官 など
- **団体職員等**  
公益事業職員、非営利組織職員 など
- **地域評価に関わる産業人材**  
観光業、旅行業、不動産業 など

# 経済・マネジメントコース

財務分析、データ分析、戦略的な考え方など、経済社会で活躍するために必要な能力を身につけます。

- 経済社会の共通言語である経済学と経営学に加えて、法律・政治などと経済社会の関連を学べるカリキュラムを開設します。
- 実践的な演習科目を用意し、地域企業の抱える課題の解決力や起業を通じた地域ニーズへの対応力を身につけます。
- 学際的な履修プログラムを用意し、法律の経済分析、社会制度・政策設計など地域経済課題に対応できる力を身につけます。

## 教育内容

### 経済社会の共通言語を修得

- 経済社会で必要とされる共通言語を修得します。
- 経済学と経営学の専門的な知識を身につける他、論理的思考力を学び、広範囲に利用可能な課題解決力を身につけます。

### 経済的な課題への柔軟な解決力を養成

- コース横断的教育など学際的教育を強化し、今日の経済的課題への柔軟な解決力を養成します。
- 基礎から応用・発展へ進む学習効果の高い履修体系を用意します。
- 経済学や経営学と関連の深い分野を学びやすいようなカリキュラムを開設して、現代の複雑な経済的課題を解決する力を身につけます。
- 経済データの正しい解釈力や、数的な問題把握力を身につけます。

### 実践的能力を身につける

- 多彩な実践科目を用意し、地域企業の課題の解決案を示すことができる実践的能力を身につけます。

### ▶ 専門的学力

- 理論的思考力と普遍的課題解決力を養う
- 経済社会の課題解決に対する考察力を養う
- 経済データに基づく分析力を身につける
- 企業活動を考察する力を養う

### ▶ 実践的演習科目（PBL）

- **企業課題解決型実践演習**  
地元企業の具体的な経営課題に対する解決策を学生が提案します。企業へのインタビューや統計調査を通じて『山形経済白書』を作成。
- **ビジネス創業実践実習**  
学生が起業を体験することにより、創業、市場調査、資金調達、財務分析等を実践的に学びます。

## カリキュラムマップ

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>専門導入科目</b> 総合講座 政治学入門 法と裁判 経済思想	<b>専門基礎科目</b> ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学、経済原論、日本経済史、経済政策論、金融論、国際経済学、経営学、会計学、専門基礎演習 など	<b>専門展開科目</b> ゲーム理論、財政学、環境経済学、計量経済学、管理会計、中小企業論、マーケティング、経営情報 など	卒業論文など 学士（経済学）
<b>基盤教育共通科目</b> 導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目	<b>ゼミ</b> ミクロ経済学演習、マクロ経済学演習、経済原論演習、経済学史演習、グローバル経済史演習、統計学演習、財政学演習、会計学演習 など		
	<b>高年次教養科目</b> ジェネリクススキル科目 キャリア科目 PBL科目 企業課題解決型実践演習、ビジネス創業実践演習 など		
	<b>横断的教育科目</b> 憲法、民法、会社法、行政学、法律の経済分析、国際取引法、労働法、公共政策学 など		

## 想定される主な進路

- **金融・保険**  
営業、経理など
- **製造**  
調達、生産管理、総務、経理
- **運輸・物流**  
営業、総務、経理
- **医療・福祉**  
総務、経理
- **農業・6次産業**  
営業、総務、経理
- **ソーシャルビジネス**  
起業
- **国税専門官**
- **国家公務員**  
財務省、経済産業省
- **地方公務員**  
県庁、市役所